

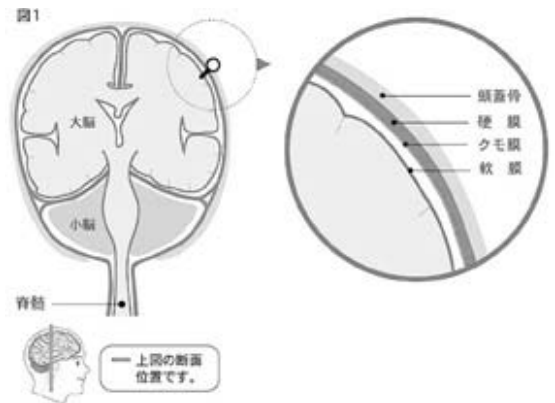
脳卒中を知ろう！～①くも膜下出血～

脳卒中は、くも膜下出血と脳出血、脳梗塞に分けられます。

この3つの病気はいずれも脳の血管が破れたり、詰まったりして起きるのが共通点です。脳卒中の予防と治療をお話するときは、脳卒中に含まれる3つの異なる病気に分けて、それぞれの病気の特徴を解説した方が的確な知識を得ることができ、予防に役立つと思われます。そこで、それぞれを3回に分けてお話していきます。

1) くも膜下出血とは

脳は、ちょうど豆腐を水の中で保存するように、頭蓋骨の中で髄液と呼ばれる水の中に守られています。この水はくも膜と脳を直接包む軟膜の間にあります。くも膜下出血は、くも膜の下にある髄液のなかに出血した状態を言います。



2) 症状

- ・今までに経験したことのない突然の激しい頭痛・吐き気・嘔吐

(※頭痛を感じないこともあるが、ガーンとする衝撃感、気が遠くなる感じやめまい感など異変が突発し、持続する)

- ・病気の程度によりますが、意識を失うことも多くあります。

→このような症状を伴った場合は、ただちに救急車を呼んで、脳外科のある病院に行くようにして下さい。

3) 原因

くも膜下出血の90%は脳動脈瘤と呼ばれる動脈のコブが膨らんで弱くなったところが破れて起きる脳動脈瘤破裂によるものです。



4) 予防

①お酒は控えめに！

適度な飲酒(1日1合以下)は、予防につながるものもありますが、多量の飲酒は、逆にくも膜下出血の原因となります。飲みすぎにはくれぐれも注意しましょう。

②高血圧の方は、血圧のコントロールを！

医師の指示にしたがって血圧の管理をしましょう。

③禁煙しましょう！

タバコは血管を収縮させ、脳動脈瘤破裂の危険が高まります。禁煙は早ければはよいほど予防効果がありますので、一日も早く禁煙をしましょう。

④血縁者に発症者がいる場合は、脳ドック等の検査を受けましょう！

くも膜下出血の多くは、脳動脈瘤の破裂でおこります。脳動脈瘤は遺伝的な体質の関与が大きいことがわかっていますので、脳ドックをおすすめします。